つべつ 社協だより

第114号

編集　社会福祉法人　津別町社会福祉協議会　令和８年１月１日発行
https://tsubetsu-shakyo.or.jp/
https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/

今年も津別小学校の生活科＆総合的な学習の授業のお手伝いをさせてもらいました

１年生
黒大豆栽培と豆おとし

２年生
野菜を育てる

３年生
福祉授業・寿大学との交流

４年生
サロンとの交流

５年生
高齢者疑似体験・車椅子体験・認知症について

今年も津別小学校1年生、2年生の生活科、3年生から5年生の総合的な学習の授業をお手伝いさせてもらいました。1年生、2年生は社協あぐりで黒大豆やじゃがいもをボランティアさんと一緒に植え、収穫しました。3年生から5年生は福祉について知り、高齢者との交流や、高齢者疑似体験や車いす体験を通して、福祉について考えました。

この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

謹賀新年

住民の皆さんとともに安心して暮らせる地域づくりを進めます！

津別町社会福祉協議会
会長 山田英孝

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、米の小売価格が上振れし、政府備蓄米が放出される等、物価高騰が続いた1年でもあり、生活資金の貸付相談が社会福祉協議会の窓口に多く寄せられていたところです。

本年は、「第3期地域福祉計画・第6期地域福祉実践計画」の2年次にあたり、これまで進めてきた「助け合い見守りで　安心して住み続けられるまち　つべつ」を目指し、町や関係機関、医療・介護・福祉関係事業所、そして住民の皆さんたちと連携しながら地域福祉活動の取り組みを進めていきます。

地域の中には身寄りのない一人暮らしの方や何らかの理由でひきこもりの状態の方など生活のしづらさや生きづらさを抱えている人がいます。誰もが安心して暮らし続けていけるよう、重層的支援体制整備事業の推進。あんしん生活サポートセンターで取り組んでいる権利擁護活動は、本人主体の支援を基本に、市民後見人と共に、成年後見活動を取り組んでいきます。また、昨年からスタートした病気や障がいなどで、自らの意思や価値観を表現することが難しい方への意思決定支援フォロワーの導入が、今年から本格運用となります。

合わせて、住民の皆さんと協働するふれあいサロンや認知症の方を支える事業を始め、生活支援サポート事業など、地域共生社会を見据えた事業展開も図ります。

本年も、役職員一丸となり、関係者の皆さんと共に、地域づくり活動を進めて参りますので、皆さんのご支援を心からお願いし、年頭のご挨拶といたします。

地域の方たちと一緒に汗を流している「社協あぐり（農園）」。今年は小学1年、2年生と芋や大豆を作りました。

市民後見人フォローアップ研修で、意思決定支援について学びました。

謹賀新年

社会福祉法人
津別町社会福祉協議会

会長	山田英孝
副会長	大場建男
〃	篠森紀仁
理事	荒川崇
〃	大矢根裕子
〃	高橋以明
〃	立川彰
〃	竹原洋子
〃	土田憲保
〃	藤田祐恵
〃	水上隆
〃	山田幸子
監事	細川順市
〃	房田敏彦
事務局長	小野淳子
事務局次長	門脇隆司
職員一同	

身近な福祉相談所研修旅行 in 大樹町

10月16日～17日、身近な福祉相談所「ぽっと」の担い手12名と大樹町社会福祉協議会に研修旅行へ行ってきました。

大樹町社会福祉協議会では、地域で行っている見守りや安否確認をわかりやすく図式化する「地域支え合いマップ」に行政区単位で行っており、大樹町でも特に活発的に行っている双葉町行政区尾藤会長、柏寿クラブ（柏木町老人会）五十嵐会長から実践報告をしていただき、その後身近な福祉相談所「ぽっと」の担い手さんと意見交換をしました。

どちらの行政区も地域でうまく行かない時には、なぜうまく行かないか理由を考えること、改善を行うために地域で話し合いを行い、それらがあったことで地域支え合いマップの作成につながったとのことでした。実際に地域支え合いマップを見せてもらいましたが、地域住民が持っている情報を元に、誰が誰と行き来ある、日常的に見守りをしてくれているなど誰もが分かるように、可視化することが大切だと知ることができました。

今回の研修旅行を通して、平時からの地域の見守りや人と人との繋がりを知っている「ぽっと」の担い手の活動を通しての地域の情報を見える化し、今後の「ぽっと」の活動に活かしていきたいと思います。

オホーツク管内市民後見人活動交流会

11月6日に紋別市民会館で開催したオホーツク管内市民後見人活動交流会に津別町市民後見人養成研修修了者6名が参加しました。この活動交流会は北見市、紋別市、網走市、美幌町、湧別町、大空町、津別町の3市4町の社会福祉協議会の職員が準備を行い、毎年開催地を持ち回りで開催しています。今年度のテーマは「寄り添うって何だろう」であり、参加者で「寄り添う」ことについて考えました。

各町の市民後見人等の受任者からの報告では、現在市民後見人が活動をしている北見市、網走市、紋別市、津別町の3市1町から事務局と一緒に報告を行いました。津別町からは令和6年から保佐人を受任している小野敏明さんから、市民後見人養成研修を受講したきっかけ、寄り添うことについて日頃の活動も含めて報告していただきました。

午後からは、各社協の事務局が役者になって行った寸劇を通してグループワークを行い、対象者にどうやって「寄り添う」ことについて考え、その後自分だったらどのように寄り添ってもらいたいかを考え、全体で共有をしました。

どのグループも様々な意見が出され、「寄り添う」ことに正解はないこと、「寄り添い方」は、人それぞれで違うこと、十人十色であることを改めて認識し、これからの後見等の活動に生かすことができる研修会となりました。

ふれあい・いきいきサロン交流会

地域の支え合いや多世代交流、介護予防を目的とした「ふれあい・いきいきサロン」事業。各地区のサロン参加者が一斉に集う「サロン交流会」を10月7日に開催しました。北見市よりピアニストの西尾朋子さんをお招きし、素敵な演奏や秋のうたを楽しみました。100名ほどの参加があり、あちこちで賑やかにお話しする姿を見ることができました。また来年も元気に参加してくれることを期待して、楽しいプログラムを企画していきます。

活汲おげんきサロンで
パシャリ

手をつなぐ育成会クレシェのパンを
おみやげに持ち帰りました

サロン参加者・新規サロン募集中！

自治会が中心となって活動するサロンが、町内14ヶ所で開催されています。月1回身近な地域で集まり、健康維持のための体操やゲーム大会、楽しく会食など行っています。

令和7年度　3町ボランティア朋のつどいの開催

11月13日（木）、本年度は津別町が担当となり、中央公民館にて実施しました。

講演では、「津別町のボランティアの取り組みについて」を津別町社会福祉協議会の立花係長より、また「津別町のボランティア実践について」は実践者である山内浩子氏より、それぞれ日頃の活動内容等をお話しいただきました。

後半には参加者同士の交流を深めるため、モルックを行いました。

大空町・美幌町・津別町の事務局を合わせ、100名以上の多くの方々にご参加していただき、３町の交流を深められたのではないかと思います。

なお、来年度は大空町での開催を予定しております。

認知症地域支援推進員より

９月２７日（土）に中央公民館で「オレンジフェスタ」を開催しました。当日は地域の皆さまをはじめ、関係者やボランティアの方など、多くの方々にご参加いただきました。

フェスタでは、本別町における「地域支え合いづくり」の実践事例を伺い、住民同士が互いに支え合う取り組みは、津別町における今後の活動の参考となり、町全体で「支え合いの輪」を広げていくことの大切さを再認識することができました。

また、津別町では「チームオレンジ」の立ち上げに向けて準備を進めています。認知症の方やそのご家族を地域全体で温かく見守り、安心して暮らせるまちづくりを目指します。今回のオレンジフェスタで、町民の皆さまと共に歩みを進め、より豊かで安心できる地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

１０月25日（土）に、町民会館で町民を対象とした「認知症サポーター養成研修」を開催しました。

本訓練は、各関係機関やボランティアの皆さまのご協力をいただき、講座の開催や認知症高齢者が行方不明となった事例を想定した寸劇を交えた声掛け訓練を行いました。

この取り組みにより、認知症に対する理解を深めるとともに、行方不明者に対する地域での見守り体制の構築を考えるきっかけとなればと考えております。

また、参加者の皆さまには、地域において認知症の方やそのご家族を支援する「認知症サポーター」になっていただきました。

今後、自治会や企業等において「認知症について学びたい」「認知症サポーターとして活動したい」といったご要望がございましたら、社会福祉協議会までお問い合わせください。

オレンジカフェも継続的に行い、ゲームやクリスマス会をやって楽しんでいます

津別町共同募金委員会より

今年度も１０月５日にパークゴルフ大会、１０月２２日にはゲートボール大会を例年通り開催する事が出来ました。両大会とも３０名以上の方に参加して頂き、合計で３５，０００円の募金を集める事が出来ました。また、今後とも、赤い羽根共同募金活動にご寄付のご協力を賜りますようお願い申しあげます。

募集中！1

「赤い羽根募金付き自動販売機」の設置企業募集

（赤い羽根自販機を設置することで気軽に社会貢献に参加できます）

■気軽に社会貢献できます。
いつでも、誰でも、自販機で飲料等を購入するだけで共同募金に参加することができます。
■ご希望にあわせた自販機を選択いただけます。
自販機メーカー、自販機の種類、サイズ等設置先にあわせてご選択いただけます。
■設置、管理の負担はありません。
自販機の設置費用は原則、自販機メーカーが負担します。
※場所の提供、月々の電気代の負担は必要です。

募集中！2

令和８年度のまる太くんピンバッジデザイン募集

（毎年津別町の名勝や特産品をモチーフにピンバッジを作成しています）

■デザインについて
・「まる太くん」、「名勝や特産品等（無くても可）」、「2026」、「津別（ひらがな、カタカナ、ローマ字でも可）」、以上を必ず描いて下さい。色は6色まで使用しても構いません。
※デザインによっては、使用出来ない物がありますので、提出後に確認させて頂きます。
■Ａ４用紙に、デザイン、氏名、年齢、住所、電話番号、デザイン理由を１００字以内で記入して下さい。
■応募は１人１点までとさせて頂きます。
■応募方法　社会福祉協議会にお持ち頂くか郵送、ＦＡＸで応募下さい。
■採用作品には、商品券５，０００円分を贈呈します。
■締切　令和8年2月１４日

問い合わせ　津別町字幸町 41 番地（役場内）
津別町共同募金会（津別町社会福祉協議会内）電話：76-1161　FAX：75-5043

津別町老人クラブ連合会

パークゴルフ大会

9月4日10クラブ41名が参加して盛大に開催されました

男性 鹿中 順一さん
（恩根ひまわりクラブ）

女性 佐藤 朝代さん
（新栄いきがいクラブ）

ゲートボール大会

9月26日6クラブ17名が参加して開催されました

優勝チーム 山田 照夫さん(豊永)チーム
柏木茂さん(活汲) 長尾隆行さん(旭昇園) 奥村照子さん(新栄) 菊地栄子さん(新栄)

演芸交流会

11月5日21名が歌い、盛大に開催されました

心あたたまるご寄付ありがとうございました。

（令和7年9月14日から令和7年12月17日）

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

達美有岡敏也様・豊永斉藤真二様・一条通山田賀淳様
一条通髙田博行様・札幌市一明眞様・双葉花井静江様
達美宮浦克好様・達美土山勉様・豊永稲部晴菜様

◆その他

津別更生保護女性会　様

物品寄付

◆津別ライオンズクラブ　様　　使用済切手821枚

指定寄付

◆西区寿クラブへ　共和原好市様
◆NPO法人北海道でてこいランドへ　一条通西山シズ子様
◆本岐老人クラブへ　双葉花井静江様
◆本岐地区いきいきサロンへ　双葉花井静江様

ボランティア登録研修のお知らせ

（津別町介護予防いきいきポイント事業）

令和8年1月14日（水）

13:30～15:30

津別町役場　健診ホール

○研修内容
・ボランティア活動とは
・対象者とのコミュニケーション

住民同士の支え合い活動として、施設や社協事業などで行ったボランティア活動に対してポイントが付与されます。そのポイントは津別町商品券と交換することができます。
今回の研修会で活動登録してくれる方を大募集！！
たくさんのご参加お待ちしています。

申込先：社会福祉協議会　76-1161　担当　四條

金銭管理のこと
成年後見のこと
など
ご相談下さい。

編集後記

数年前から津別小学校で福祉教育をさせて貰い、毎回小学生が真剣に取り組む姿勢に感心しているところです。この子供たちが将来大人になった時に地域の福祉活動がより一層充実するものになると感じるとともに、私たちも自己研鑽を続けていかなければいけないと身が引き締まる思いをしています。　（K）

発行：社会福祉法人　津別町社会福祉協議会　☎0152－76－1161